

「教育部会平成30年提出課題」を再送付いたします。  
お書込みいただき、9月14日(金)までに御提出下さい。

党派を超えて国家的課題を追求する  
**公益財団法人 協和協会**  
**時代を刷新する会**

両団体会長代行 岸 信 夫  
両団体理事長 半 田 晴 久  
教育部会長 若 林 克 彦  
両団体専務理事 清 原 淳 平

## 教育部会のお知らせ (第344回)

**日 時** 平成30年9月21日(金) 午後1時半～3時半

**場 所** 参議院議員会館 地下1階 B102会議室

千代田区永田町2-1-1

◆国会議事堂前駅(丸の内線・千代田線)①番出口より下車5分、永田町駅(有楽町線・南北線)①番出口より下車2分。当日、午後1時より、議員会館玄関にて、通行証を差し上げます。時刻前に到着された方は、恐縮ですが、金属探知機通過後、受付脇のロビーにてお待ちください。会議開始後にお越しの方は、受付に「B102会議室に行きたい」旨、お伝え下されば、お迎えにまいります。

**議 題** 1、最近の高等教育改革について思う

挨拶 若林克彦部会長(国土舘大学元学長)

2、要請書テーマの絞り込み(夏季提出課題をもとに)

解説 若林克彦部会長

**報 告**

去る7月20日開催の、第343回教育部会は、若林克彦部会長が議長を務めて行われました。まず、若林部会長より、「最近の高等教育改革について思う」と題して挨拶がありました。新聞に、科学の専門家3名による日本の科学の将来に対する危惧が述べられていた。高額の研究費を受け取れるのは一握りで、わずかな研究費をやりくりし、それに伴う事務手続に忙殺される。そんな研究者の姿を見て、優秀な人材が博士課程に進まなくなる。だが、わずか2年の大学院生活で半分を就職活動に費やすのでは、

果たして課題を見つけて解決する能力が身につくだろうか。また、90年代中頃に大手企業が中央研究所を廃止したことにより、就職先が減って物理学で博士課程に進む割合が減り、ひいては日本の物理学をはじめとした科学技術全般の衰退を招き、新しいイノベーションが生み出しにくくなった、という指摘もあった。これをどう解決するか。参考になるのはアメリカの先端ベンチャーを支援する制度と、科学技術の専門官である。大学発のベンチャー企業で産業を活性化させ、大学教員の兼業を認めるなど、博士課程を取れば、こういうメリットがある、というビジョンを、博士課程を目指す学生に示すことが必要になる。時代の変化に合わせて大学入試も変化が必要だ。今までは過去の知識をどれだけ知っているかが問われたが、例えばゲノムなどの分野ではデータを基に想像力やデザイン思考力が求められる。今年の子供向けのある調査では、男子のなりたい職業に、「学者・博士」が1位になった。これは光明の1つだろう。

次に、「これまでの教育部会の議論の集約と要請書テーマの絞り込み」について、一同にて意見交換があった。○優秀な人材だけを大学に進学させ、質の確保を目指す方向づけを柱の一つとする。就職の上で大卒、特に新卒偏重を見直させるには、経済界の協力も不可欠。就職活動の時期も再考してほしい。研究の時間が取れないという意見が各所から聞かれる。○経営難の大学名を公表する、国公私の垣根を超えた合併の促進など、大学淘汰の方向に進んでいるので、これは国の方針とも合致している。ただ、それによって大学が都心に偏重するようでは困る。地方大学は強みを徹底的に磨く取り組みが注目されているが、これと専門職大学との競合については、制度が始まって何年かしないとわからない。○教員の非正規雇用問題。大学で起業する流れが加速すれば、卒業後の就職先にも困らないし、教員の受け皿にもなるだろう。大学が稼げるようになれば、補助金頼みの運営にならずにすむのではないか。

★資料代 会員は**五百円**に ご協力御願ひ申し上げます。

**次回、9月21日（金）の教育部会に**

**出・欠**（いずれかに○印）

**事務局宛 F A X 03-3507-8587**

御芳名 \_\_\_\_\_

貴方様の F A X \_\_\_\_\_

電話 \_\_\_\_\_

**テロ対策への警備からの要請上、会員に限ります。非会員で  
参加希望者は、2日前までに履歴書をご提出下さい。**

**（その場合の当日会費は二千円となります）**

**当日連絡先 080-8836-6203 又は 080-9292-2620**

協和協会事務局 ☎03-3581-1192 時代を刷新する会事務局 ☎03-3272-4320

HP <http://www.jidaisassin.jp> Eメール [kiyohara@jidaisassin.jp](mailto:kiyohara@jidaisassin.jp)